

第42回田原市男女共同参画推進懇話会【書面開催】 決議結果

1 決議結果

議案	可決数	否決数
(1) 令和4年度男女共同参画フェスティバルについて	20	0
(2) 男女共同参画応募作品の審査について	20	0

2 表決年月日

令和4年3月4日

3 委員からの意見

○男女共同参画フェスティバルについて

- ・講演会のオンライン配信やアーカイブ配信、若者層への周知方法を検討した方が良いと思います。
- ・宮本先生の性教育講演会は大変良かったと思います。令和3年度のジェンダー平等を達成するための重要な基礎として意義深いものでした。これを機に、田原市の学校コミュニティスクール・市民館等に毎年続けていくことを進めていかれたら良いと思います。また、会場として、渥美文化会館を今後も使っていけると良いと思います。

○作品募集について

- ・どの作品も現状の問題点だけでなく、この社会の中で、自分達には何ができるかまで考えられていました。
特に、自分自身も無意識に何かしらの偏見をもち、誰かの差別をしてしまう一人であると客観的に意識すること、そして、その上で全ての差別の根絶を願う気持ちが素晴らしいと思いました。
- ・応募作品はどれも素晴らしく、中学生の年齢でこれだけの文章が書けることにまず驚いた。
学校の授業がどんなふうに行われたのだろうと思った。授業を行う先生自身の価値観も問われるような、幅広い問題に対し、いかに授業していくのか、先生方も多くの学びがあったのだろうと思った
- ・どの作文も良い出来であり、採点に悩みました。
- ・作文は毎回考えさせられる素晴らしいと思います。
- ・審査作品が各中学校の代表作品とは思いますが、中学生とは言え、しっかりした考えを持っていることに感服します。

- ・男女共同参画応募作品の募集に321人の生徒さんが出されたことは、素晴らしいと思います。男女共同参画について学び、ジェンダー平等が大切と知り、現実の身の回りについて注視して、問題点に気づき主体的に文章にして発信したことは、貴重な第一歩であると思いました。
- ・中学生の作文は問題意識を持ち、その課題解決に努めようとする姿勢がある素晴らしい作文であった。この子達が社会に出て行けば男女共同参画は一層進むと思う。その中学生を懇話会の席に招き意見交換ができればよい。

○パートナーシップ制度について

- ・パートナーシップ制度の導入はうれしいことです。
声をあげ、現実に向けて行動した先駆者の皆様に（当事者、支援者含め）私は敬意申し上げます。最初は、一地方自治体の取り組みだったかもしれませんが、大きなうねりになっていることに、社会の進歩を感じます。
- ・パートナーシップ事業はいいと思いますが、市民への周知方法や、3階まで行くのにためらいがあるのではと考えます。
- ・ファミリーシップ制度・事実婚も取り入れると良いと思う。事実婚を対象にすることは性的少数者の人にとっても、メリットがある。メリットとしては、アクセスしやすくなり、宣誓のハードルが下がることが挙げられる。一方で、対象が性的少数者に限定されると、可視化やアウトィングにつながる可能性がある。他市では、実際に当事者から事実婚も含めてほしいとの要請がある。
- ・当事者も入れて意見交換会を実施するとよい。他市の意見交換会の中で、当事者からの意見により、受領証カード裏面における、戸籍上の氏名の記載はなしとなった。理由としては、アウトィングの恐れがあることと、また、氏名を見るのも苦痛というトランスジェンダーの方もいるため。
- ・当事者がいなくても、市外のLGBT支援団体にチェックしてもらおうと良い。
- ・市民協働を窓口にするところが多いが、アウトィング防止や守秘義務の徹底のため、研修を受けた方がいい。一番やってはならないことは、人権を侵すこと。

○その他

- ・下形さんの小学校での授業もとてもよかったと思う。まだ柔らかな感性を持つ子ども達に直接話をするには、大人達の意識向上も大切だが、先入観に支配されやすい大人に比べ、吸収力も高くとても有意義で貴重な時間になったと思う。
子ども達が、身近な問題にふと疑問を持つきっかけになれば大人も巻き込んで共に未来を創っていけるのではと思った。
- ・永田委員の考える女性会議ができると良いと思います。
- ・なかなか会議が開けず、皆さんとの意見交換が無いことが残念です。
- ・仕方がない事とはいえ、委員の皆様方の意見を直接聞く事が出来なくて残念でした。